

目次
CONTENTS

ごあいさつ	1
開催概要	2
出展実績	4
出展社アンケート結果	5
来場実績	6
来場者アンケート結果	8
併催・関連行事	10
サービス・プロモーション活動	20
会場マップ	22
出展社一覧	26

ごあいさつ

TOKYO PACK 2022—2022東京国際包装展—は、2022年10月12日(水)～14日(金)の3日間、公益社団法人日本包装技術協会の主催により、東京ビッグサイトにて開催しました。

本展は、1966年の第1回から隔年で開催し、今回で29回目を迎え、国内はもとより世界中から多くの包装関係者が集まる、名実ともに世界有数の総合包装展で、あらゆる業界において活用される包装資材・容器・機械・関連機器・システム・ソリューションが一堂に展示されるアジア最大の総合包装展です。

今しばらく新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化すること、本展の出展社数や小間数も、コロナ前の水準に戻ることが考えにくいと判断し、今回に限り利用会場を東1-3・東6ホール(計4ホール)で開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止への対応、原材料価格や輸送費の高騰、半導体や電子部材の供給不足による納期遅延、慢性的な労働者不足への対応、グローバルなサプライチェーン網の混乱など、包装産業を取り巻く経営環境は依然厳しい状況が続いております。

また、2030年のSDGs(持続可能な開発目標)や、2050年のカーボンニュートラルなどの数値目標を達成確実とするためにも、サプライヤーそしてユーザーとの一層の連携が急がれます。

人々の豊かな暮らしを支え、社会生活の向上のための「エッセンシャル・マテリアル」である包装が果たす社会的使命は、環境面・機能面・情報面など様々な視点からもこれから増々高まりをみせることと確信しております。

「新時代パッケージ ここに集う!—未来のために機能進化と使命—」を開催テーマにした今回は、406社・団体の出展社が総力を結集し、現在そして未来に求められる最新の包装の姿を余すことなく披露し、来場者と出展社の「出会いの場」を創出するなど、その役割を全うし盛況のうちに終了することができました。

また、セミナーや特別企画・併催行事に連日多くの方にご参加いただき、そして、多くのご好評の声をいただくことができました。

ここに報告書をもって、開催にあたり格別なるご高配を賜りました出展社・関係者各位をはじめ、関係省庁、団体各位に深く感謝を申し上げます。

次回「TOKYO PACK 2024—2024東京国際包装展—」開催に向け、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開催概要

名 称	TOKYO PACK 2022 - 2022東京国際包装展 - Tokyo International Packaging Exhibition 2022
テ ー マ	新時代パッケージ ここに集う! - 未来のために機能進化と使命 -
会 期	2022年10月12日(水)~10月14日(金) 3日間
開場時間	10:00~17:00 ※来場登録受付開始 9:30~
会 場	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東1~3・東6ホール 東京都江東区有明3-11-1
目 的	包装資材、包装機械から包材加工機械、食品機械、関連機器類、環境対応機材、物流機器類に至る生産・包装・流通の技術振興をはかるとともに、交流および包装の最新情報発信の場として、国際的な視野に立った社会の発展に資することをもって目的とする。
主 催	公益社団法人日本包装技術協会(JPI)
後 援	経済産業省/日本商工会議所/日本貿易振興機構/日本生産性本部/世界包装機構/アジア包装連盟/ 日本包装機械工業会/日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会/東京ビッグサイト
出展内容	包装資材・容器 包装機械 印刷・包材加工機械 食品・医薬品・クリーン関連機械検査・計測・環境関連機材、 包装デザイン・サービス、次世代テクノロジー、包装・物流ソリューション、海外出展
開催規模	406社・団体 1,602小間
併催行事	2022日本パッケージングフォーラム/2022(第46回)木下賞受賞フォーラム 出展社による最新包装技術セミナー/TOKYO PACK Global Seminar/パッケージデザインセミナー/ 2022グッドパッケージング展/2022木下賞受賞作品展/PACKAGE DESIGN PAVILION/集中展示企画 他

2022東京国際包装展 実行委員会

(敬称略)

2022年10月3日現在

実行委員長	藤田 一浩	東洋インキ(株)		
副実行委員長	津田 邦夫	(株)タカラ		
実行委員	西川みどり	アルマーク(株)	岩崎みづえ	DIC(株)
	澤野 啓二	アンリツ(株)	高田 知之	東洋インキSCホールディングス(株)
	駒井 祐郎	イーデーエム(株)	田原 健作	東洋製罐グループホールディングス(株)
	関澤 寿樹	出光ユニテック(株)	野上 達矢	凸版印刷(株)
	山縣 茂	王子ホールディングス(株)	浪江 栄治	(株)トパック
	梶原 秀浩	(株)カジワラ	青木 康哲	日本工業刃物(株)
	春日井良枝	共同印刷(株)	鍛冶 葉子	日本テトラパック(株)
	町田 秀紀	(株)協和自動機	石原 貢行	日本包装機械(株)
	八木野 徹	(株)クラウン・パッケージ	島里 誓	PACRAFT(株)
	松本 誠志	(株)サンエー化研	奥田 佳隆	藤森工業(株)
	田中 弘之	四国化工機(株)	島田 賢一	三菱商事パッケージング(株)
	中村 彰	ストラパック(株)	安川 義浩	レンゴー(株)
	福岡 直子	大日本印刷(株)		
	事務局	園山 洋一	専務理事	小川 貴弘
小籠 宣幸		常務理事 事務局長	秋枝 博子	事務局
越野 滋夫		顧問	佐藤 裕貴	事務局

協賛団体

(順不同、敬称略)

エイジング社会研究所	日本接着剤工業会
神奈川県包装機械工業会	一般社団法人 日本倉庫協会
公益社団法人 共用品推進機構	一般社団法人 日本惣菜協会
特定非営利活動法人 グリーンコンシューマー東京ネット	日本チェーンストア協会
一般社団法人 産業環境管理協会	公益財団法人 日本デザイン振興会
JA包装園芸資材協会	一般社団法人 日本電機工業会
一般財団法人 食品環境検査協会	一般社団法人 日本乳業協会
一般財団法人 食品産業センター	日本粘着テープ工業会
一般社団法人 全国スーパーマーケット協会	日本バイオプラスチック協会
全国クラフト紙袋工業組合	公益社団法人 日本パッケージデザイン協会
全国味噌工業協同組合連合会	日本ハム・ソーセージ工業協同組合
一般社団法人 全日本コーヒー協会	日本フォームスチレン工業組合
全日本シール印刷協同組合連合会	日本プラスチック機械工業会
全日本紙器段ボール箱工業組合連合会	日本フレキシブルコンテナ工業会
東京包装材料商業協同組合	日本包装学会
軟包装衛生協議会	日本ポリオレフィンフィルム工業組合
一般社団法人 日本印刷産業機械工業会	公益社団法人 日本マーケティング協会
一般社団法人 日本印刷産業連合会	公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会
日本インダストリアル・エンジニアリング協会	一般社団法人 日本冷凍食品協会
公益社団法人 日本インダストリアルデザイン協会	一般社団法人 日本ロボット工業会
一般社団法人 日本エアゾール協会	東日本食品包装工業会
日本エアゾール容器協議会	一般社団法人 プラスチック循環利用協会
一般社団法人 日本果汁協会	一般財団法人 流通システム開発センター
日本ガラスびん協会	日本弁理士会
公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会	一般財団法人 化学研究評価機構
日本機械輸出組合	全日本プラスチック製品工業連合会
日本化粧品工業連合会	一般社団法人 日本アルミニウム協会
日本梱包工業組合連合会	日本一般用医薬品連合会
一般社団法人 日本自動認識システム協会	公益財団法人 日本環境協会
一般財団法人 日本消費者協会	公益社団法人 日本グラフィックデザイン協会
日本醤油協会	公益財団法人 日本醸造協会
一般社団法人 日本食品機械工業会	一般社団法人 日本パン工業会
一般社団法人 日本食品包装協会	日本フレキシ技術協会
一般社団法人 日本植物油協会	PETボトルリサイクル推進協議会
日本製缶協会	日本製薬団体連合会
日本製紙連合会	一般社団法人 日本百貨店協会
協同組合 日本製パン製菓機械工業会	全国加工海苔協同組合連合会
日本石鹼洗剤工業会	公益社団法人 日本印刷技術協会

出展実績

出展社数／小間数

出展社数	406 社・団体	出展小間数	1,602 小間
------	-----------------	-------	-----------------

■ 過去開催出展社数／小間数 ※1小間面積 8.82㎡(2.97m×2.97m)

開催年	2022	2021	2018	2016	2014	2012
出展社数	406	267	700	669	684	600
小間数	1,602	1,353	2,609	2,556	2,490	2,270

TOKYO PACK 2021は東京オリンピック・パラリンピックの影響に伴い、当初予定していた東展示棟の利用制限(禁止)の要請を受け、西・南展示棟へと会場が変更となりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、西1～4ホール、南1～2ホールと規模を縮小し開催しました。

出展分類別 出展社数／小間数

出展分類名	2022		2021	
	社数	小間数	社数	小間数
包装資材・容器	110	747	55	490
包装機械	45	280	45	329
印刷・包材加工機械	43	207	32	154
食品・医薬品・クリーン関連機材	15	63	10	45
検査・計測・環境関連機材	15	65	9	23
包装デザイン&サービス	9	13	5	9
次世代テクノロジー、包装・物流ソリューション	16	64	12	44
PR・PRESS	17	21	16	20
共同出展社	39	—	31	—
中華圏出展社	31	42	6	3
主催者企画	66	100	46	236
合計	406	1,602	267	1,353

海外出展社数／小間数

開催年	2022年	2021年	2018年	2016年
海外出展社数	41	6	153	162
海外小間数	63	3	231	236

■ 海外出展参加国・地域 12カ国・地域

中国	タイ	アルゼンチン	韓国	フランス	ドイツ
アメリカ	オランダ	インド	トルコ	スウェーデン	台湾

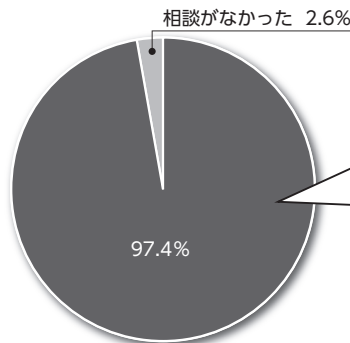
出展社アンケート結果

※出展社へのアンケート調査は、会期後(対象：国内全出展社)に実施いたしました。
 ※質問項目文末にある(SA)はシングルアンサー、(MA)はマルチアンサー：複数選択となっております。

Q 出展した効果は？ (SA)

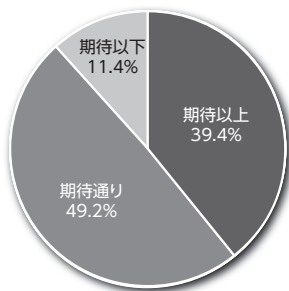
出展効果は？	割合(%)
販売促進/PRの場として活用できた	25.9
新規顧客獲得の場として活用できた	25.4
既存顧客のアピールの場として活用できた	22.8
製品に対する来場者からの意見収集の場として活用できた	11.1
新製品発表の場として活用できた	9.5
業界における企業イメージ向上のため活用できた	5.3
合計	100.0

Q 会期中における取引などの相談についてはいかがでしたか？ (SA・MA)

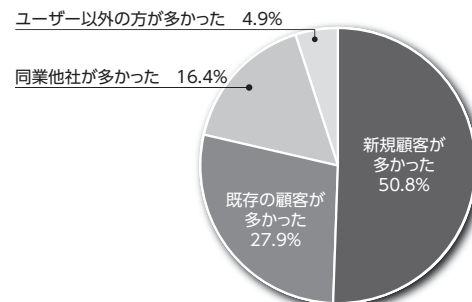


具体的には？	割合(%)
後日詳細説明の約束が取れた	77.6
サンプルや資料を提出した	77.6
見積りを提出した	31.0
取引成立	5.2

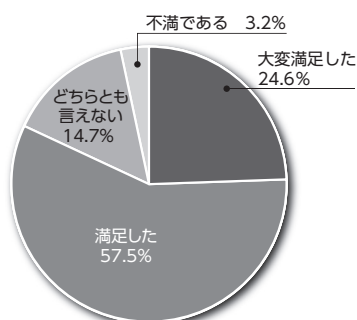
Q 貴社小間への訪問者数は？ (SA)



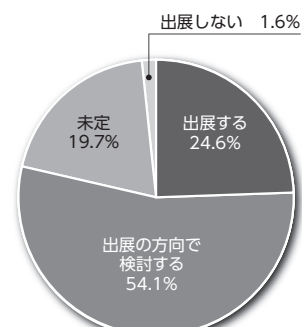
Q 貴社小間への訪問者の印象は？ (SA)



Q 今回の出展評価は？ (SA)



Q 次回TOKYO PACK 2024への出展は？ (SA)



来場実績

来場登録者数／入場者数

来場登録者数	53,466 名	入場者数	167,053 名
--------	-----------------	------	------------------

開催日	10月12日(水)	10月13日(木)	10月14日(金)	合計
来場登録者数	12,993 (うち海外：302人)	19,924 (うち海外：448人)	20,549 (うち海外：250人)	53,466 (うち海外：1,000人)
入場者数	41,577	59,772	65,704	167,053

■ 前回比較表 来場登録者数／入場者数

()は対前回比

開催年	2022年	2021年
来場登録者数	53,466 (269.5%)	19,836
入場者数	167,053 (226.7%)	73,698

※来場登録者数：会期中に本展受付にて、来場登録した人数と、WEB事前登録を済ませ、実際に来場した人数の和。一人の方が、会期中、複数回または数日にわたって来場しても、カウント数は1名。

※入場者数：東京ビッグサイト各ゲートに設置されたセンサーによる通過人数をカウントした人数。例えば、一人の方が、会期中3日間来場した場合、カウント数は3名となります。出展社もカウントに含まれます。

業種別来場登録者内訳

業種名	2022		2021	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
食品・飲料・農林・水産	10,964	20.5	3,214	16.2
医薬品・化粧品・トイレタリー	4,652	8.7	969	4.9
日用品・雑貨	3,509	6.6	976	4.9
化学・繊維・衣料	4,373	8.2	1,989	10.0
鉄鋼・機械・電気・自動車	3,731	7.0	1,600	8.1
流通・商社・物流サービス	8,218	15.4	3,688	18.6
容器・包装産業	12,942	24.2	5,170	26.1
一般・学生・その他業種	4,003	7.5	1,732	8.7
官公庁・団体・研究機関	818	1.5	253	1.3
プレス	236	0.4	209	1.1
その他・未回答	20	0	36	0.1
合計	53,466	100.0	19,836	100.0

職種別／役職別来場登録者内訳

職種別来場者内訳 : 有効回答数53,466		
職種名	件数	割合(%)
営業	14,876	27.8
経営企画・マーケティング	7,185	13.4
商品企画・開発	7,118	13.3
研究・技術	5,949	11.1
生産・製造	5,774	10.8
資材・購買	4,245	7.9
エンジニアリング	1,974	3.7
人事・総務・経理	973	1.8
広報・宣伝	932	1.7
情報システム	602	0.1
その他	3,838	8.4
合計	53,466	100.0

役職別来場者内訳 : 有効回答数53,466		
職種名	件数	割合(%)
経営者、役員	7,723	14.4
本部長、部長	6,987	13.1
副部長、次長	4,390	8.2
課長	8,857	16.6
係長、主任	8,142	15.2
社員、職員	13,944	26.1
その他・未回答	3,423	6.4
合計	53,466	100.0

海外来場登録者数

開催年	2022年	2021年
海外来場登録者数	1,000 (227.3)	44
国内来場登録者数	52,466 (265.1)	19,792

()内数値は、前回比

2021本展開催時(2月)は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延による厳しい入国規制のため、海外からの来場者は通常期より大きく減少し44名に留まった。

国・地域別海外来場登録者内訳

アジア：917名	
国・地域名	登録者数
韓国	449
中国	194
タイ	127
台湾	44
シンガポール	22
キルギス	21
マレーシア	20
インドネシア	13
インド	8
香港	7
パキスタン	4
フィリピン	3
スリランカ	2
モンゴル	1
オマーン	1
ベトナム	1

ヨーロッパ：40名	
国・地域名	登録者数
スウェーデン	8
イタリア	7
ドイツ	4
イギリス	4
フィンランド	3
フランス	3
エストニア	2
ラトビア	2
スイス	2
オーストリア	1
エチオピア	1
ハンガリー	1
オランダ	1
ノルウェー	1

北米・中南米：20名	
国・地域名	登録者数
アメリカ	12
カナダ	3
ペルー	3
ブラジル	1
メキシコ	1

中東：14名	
国・地域名	登録者数
トルコ	4
アラブ首長国連邦	3
レバノン	2
南アフリカ	2
イスラエル	2
ケニア	1

その他：9名	
国・地域名	登録者数
オーストラリア	8
トンガ	1

計43カ国・地域

来場者アンケート結果

※来場者へのアンケート調査は、来場事前登録時(対象：事前登録者)と会期後(対象：国内全来場登録者)に実施しました。
 ※質問項目文末にある(SA)はシングルアンサー、(MA)はマルチアンサー：複数選択となっております。

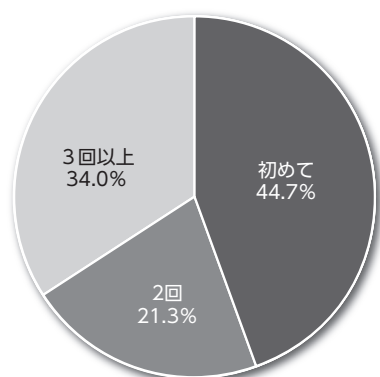
Q 貴社の包装に関する課題は？ (SA)

包装の課題は？	2022	2021
容器・包装を通じ地球温暖化への対応を検討	21.9	18.7
コスト削減への対応を検討	19.0	18.2
最先端の技術・製品・サービスを通じ他社との差別化を検討	15.8	18.1
容器・包装を通じ販売促進の強化を検討	11.2	13.3
生産・包装ラインの合理化を検討	10.3	10.2
包装設計の見直し、物流の合理化を検討	9.6	8.6
内容物の品質・安心・安全・賞味期限などの改善・向上を検討	9.0	10.1
その他	3.2	2.8
合計	100.0	100.0

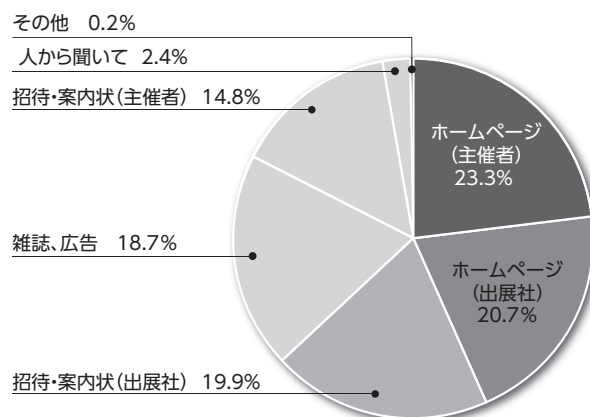
Q あなたの製品購入に関する影響力は？ (SA)

製品購入に関する影響力は？	2022	2021
製品購入への提案・助言する立場である	41.5	39.9
特に役割はない	20.2	17.2
包装実務を担当している立場である	15.2	11.4
選定をほぼ決定づけている	13.8	16.6
最終決定をする権限を持っている	7.2	13.2
その他	2.1	1.7
合計	100.0	100.0

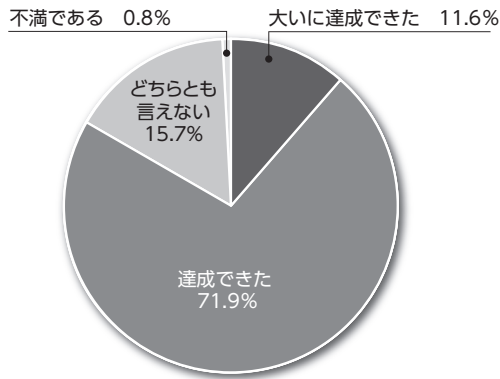
Q 今回で来場は何回目ですか？ (SA)



Q 本展を何で知りましたか？ (SA)



Q 来場目的は達成できましたか？ (SA)



Q あなたの来場の目的は？ (SA)

来場の目的は？	2022	2021
新製品、技術の全般的な情報収集	41.6	39.3
製品購入を目的とした情報収集	18.4	15.7
市場への一般的興味	13.4	14.2
出展社との技術的交流	13.4	14.0
競合他社の情報収集	10.6	13.7
主催者企画への参加	2.6	3.1
合計	100.0	100.0

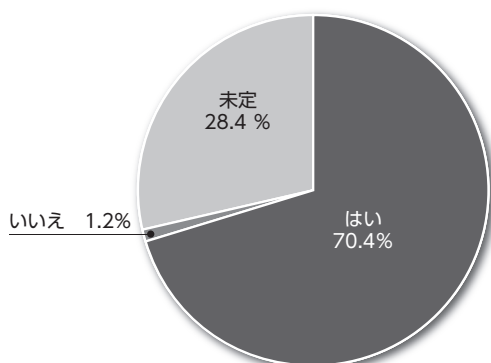
Q 参考になった企画展示は？ (SA)

企画展示名	割合 (%)
2022グッドパッケージング展	34.2
2022木下賞受賞作品展	18.5
パッケージデザインパビリオン	15.3
集中展示企画 「新時代に挑むパッケージ」	12.9
CLOMAパビリオン	6.0
ワールドスター賞受賞作品展	5.7
東京都中小企業振興公社パビリオン (東京ビジネスフロンティア)	4.8
知的財産 無料相談コーナー	1.5
包装相談所 (Q&Aコーナー)	1.1
合計	100.0

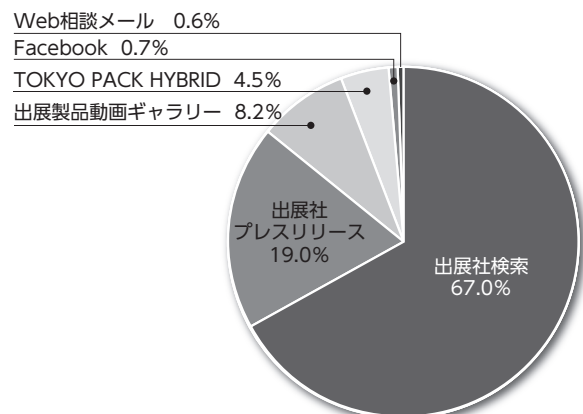
Q 参考になったセミナーは？ (SA)

セミナー名	割合 (%)
出展社による最新包装技術セミナー	27.3
基調講演	17.3
パッケージデザインセミナー	15.0
新時代TOKYO PACKセミナー	12.1
TOKYO PACKグローバルセミナー	7.0
2022木下賞受賞フォーラム	6.4
2022パッケージングフォーラム	6.0
スウェーデンセミナー	4.3
集中展示企画セミナー	2.3
WPOカンファレンス	2.3
合計	100.0

Q 次回(2024年10月開催)も来場をご希望されますか？ (SA)



Q 参考になったHPの機能はありましたか？ (SA)



併催・関連行事

特別企画展示

集中展示企画「新時代に挑むパッケージ」

会場 東6ホール

企画 日本包装管理士会、日本包装専士会、
日本包装コンサルタント協会、技術士包装物流会

日本包装管理士会、日本包装専士会、日本包装コンサルタント協会、技術士包装物流会による協力のもと、本展推奨の4つのテーマに基づき、環境問題への意識の高まりや長引くコロナ禍など、新時代への変化に挑むパッケージの最新動向をご紹介します。また来場いただいた特典として、展示内容をまとめた小冊子「NEW PACKAGING ERA」を配布しました。



パッケージデザインパビリオン

会場 東6ホール

運営 日本インダストリアルデザイン協会

協賛 日本パッケージデザイン協会、日本弁理士会、日本デザイン事業協同組合、
日本グラフィックデザイン協会



「デザイナーと企業との出会いの場」をテーマに、付加価値のある新しいパッケージデザインの発見、販売力向上のためのヒントを一堂にご紹介しました。

また、デザイナーとの相談をスムーズに行っていくための共通シート「パッケージデザイン問診票」も用意しました。

出展社一覧（50音順・敬称略／合計26社・団体）

アイプラスデザイン(株)	アルテアエンジニアリング(株)	アルテサーノ・デザイン(同)	ARUPaPa(株)
(株)イチデザイン	(株)MD Dクリエイティブ	(株)カブ・デザイン	(有)ケルビム
佐野デザイン事務所	(有)シーダブリュエス	(株)スタジオ・エーワン	タンク(株)
(株)デザインフォース	(公社)日本インダストリアルデザイン協会	(公社)日本グラフィックデザイン協会	日本デザイン事業協同組合
日本弁理士会	ピーケージートーキョー	(株)フォルム	(株)プラグ
(株)ヘルメス	(株)ボンドクリエイティブ	(株)YAOデザインインターナショナル	YOKOHAMA LITERA design studio
(株)ラジアン	レガン(株)		

知的財産 無料相談コーナー

会場 東6ホールパッケージデザインパビリオン内

知的財産のプロである弁理士が、意匠や商標、発明や著作物などの知的財産保護、リスク回避を踏まえ、来場者の商品開発などに関して相談会を実施しました。



特別企画展示

2022グッドパッケージング展

会場 東6ホール

日本包装技術協会の主催で毎年開催している日本パッケージングコンテストの2022年度の入賞作品を一堂に展示しました。
展示作品は、技術・デザイン・環境対応・アイデア・適正包装面等、広範囲に及ぶ厳正な審査基準をクリアした我が国最高水準のパッケージです。



2022 (第46回) 木下賞受賞作品展

会場 東6ホール

日本包装技術協会の主催で毎年開催される木下賞の2022年度の入賞作品を一堂に展示しました。木下賞は、包装の「研究・開発」、「改善・合理化」、「新規分野創出」に顕著な業績をあげたものに対して授与されます。



東京都中小企業振興公社パビリオン(東京ビジネスフロンティア)

会場 東3ホール

企画 東京都中小企業振興公社

東京都中小企業振興公社が実施する中小企業受注拡大プロジェクトの取組みとして、環境に優しい燃やせるプラスチックやシリコン・石灰石・紙・木材といった素材を用いた製品や、様々な包装機械や印刷技術を持った企業が出展しました。



出展社一覧 (50音順・敬称略/合計22社・団体)

エクスポート・ジャパン(株)	カネパッケージ(株)	(株)クレア	(株)コスモテック
(株)サイプラ	(有)正見社工業所	(株)Zen-Sai	(株)ソニア
(株)泰清紙器製作所	(有)タケトモ電機	東京都中小企業振興公社(東京ビジネスフロンティア)	東京未来素材-燃やせるプラスチック(有)三幸電機製作所
東京吉岡(株)	(株)B-STORM	(株)東日本技術研究所	(株)PIJIN
(株)フォーワテック・ジャパン	ホーショー(株)	(株)松浦紙器製作所	ヤマコー(株)
(株)吉村	楽プリ(株)		



特別企画展示

CLOMAパビリオン

会場 東6ホール

企画 クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス事務局

サプライチェーン全体で資源循環を促す社会システムの構築など、さまざまな取り組みを進めるCLOMAの活動や今後の展望について、また会員各社・団体からは、海洋プラスチックごみ問題の解決に資する製品・サービス・ソリューションなどをご提案しました。



出展社一覧 (50音順・敬称略/合計18社・団体)

(株)ウエストワン	梅田真空包装(株)	SGSジャパン(株)	北村化学産業(株)	キョーラク(株)
(株)クラレ	クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス事務局	(株)コーレンス	ザ・パック(株)	シグマ紙業(株)
シンテゴンテクノロジー(株)	水性フレキソ促進協議会	ダウ・ケミカル日本(株)	東都成型(株)	(公財)日本環境協会 エコマーク事務局
発泡スチロール協会	(株)平和化学工業所	レンゴー(株)		

ワールドスター賞 受賞作品展

会場 東6ホール

WPO (世界包装機構) が主催するWorld Starは、包装全般を対象に審査する世界でも唯一無二のコンテストであり、今回は各国の受賞作品の一部を展示し、世界の包装の最新トレンドをご紹介します。

WPO (世界包装連盟) は非営利の国際非政府組織として1968年に東京で創設され、現在62か国4団体が会員となっています。



包装相談所(Q&Aコーナー)

会場 東6ホール会場内

来場者の包装に関する課題について、包装のスペシャリストと相談できるコーナー開設しました。

実際の包装商品を持ち込み包装相談所に立ち寄った来場者もいました。



セミナー

基調講演

会場 会議棟605/606

聴講者総数 840名 (参加無料・事前登録)

国内外よりキーパーソンをお招きし、包装にかかる各国の法規制や政策、環境対策や包装の未来そして課題に関する最新動向をご紹介します。

森泰正氏、ジョージ・シェーンバルド氏のQ&Aセッションでは、循環型社会に向けたEUの今後について多くの質問をいただき、充実したセッションとなりました。



10月12日(水)

10:30~11:15	<p>「プラスチックに係る資源循環の取組をはじめとした資源循環経済政策について」 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 課長 田中 将吾 氏</p>
11:45~12:30	<p>「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の概要と包装業界が取り組むべき課題」 環境省 環境再生・資源循環局 総務課リサイクル推進室 室長 水谷 努 氏</p>
13:00~14:00 【録画講演】	<p>「EUにおける環境包装の最新情報」 EUROOPEN Managing Director フランチェスカ・スティーブンス 氏</p>
14:30~16:30	<p>① 「ドイツの包装戦略と未来志向のパッケージ事例」 ② 「ドイツのパッケージ専門家に聞く「循環型社会に向けたEUのルール形成戦略」(Q&Aセッション)」 ③ 「世界のパッケージング業界が直面する課題：廃棄物管理」 株式会社 パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 森 泰正 氏 シェーンバルド・コンサルティング 代表 ジョージ・シェーンバルド 氏</p>



新時代TOKYO PACK セミナー

会場 会議棟605/610

聴講者総数 871名 (参加無料・事前登録)



新時代を彩るパッケージングの最新動向を全12セッションでご紹介しました。

10月12日(水)

10:30~12:00	<p>『加工食品分野における外装サイズ標準化ガイドライン』への取り組みについて</p> <p>味の素株式会社 食品研究所 商品開発センター 包装設計グループ 松嶋 健治 氏 株式会社 NX総合研究所 シニアコンサルタント 室賀 利一 氏</p>
12:30~13:30	<p>『デザイナーと手を取り合う知財活用戦略』～デザインロイヤルティ契約のすすめ～</p> <p>日本弁理士会 (JPAA) 意匠委員会 K&T特許商標事務所所属 弁理士：青木 寛史 氏 公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 (JIDA) 理事 調査・研究担当 (株)フォルム 代表取締役社長デザイナー：松本 有 氏</p>
14:00~14:45	<p>『食品工場の生産ライン設計における最適化事例』</p> <p>慶応義塾大学 理工学部 教授 松川 弘明 氏</p>
15:15~16:00	<p>『食品用器具・容器包装のPL制度と食品接触材料安全センター紹介』</p> <p>食品接触材料安全センター情報調査 広報室長 石動 正和 氏</p>

10月13日(木)

10:15~11:45	<p>『国立環境研究所 × マシンガンズ滝沢秀一 × 日本包装専士会：Z世代が問う未来への課題 ～パッケージ、食品ロス～』</p> <p>講師①：国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域 資源循環社会システム研究室 主任研究員 稲葉 陸太 氏 講師②：株式会社 太田プロダクション 環境省「サステナビリティ広報大使」・お笑い芸人・ごみ研究家 マシンガンズ 滝沢 秀一 氏 講師③：缶詰技術研究会 編集部・部長 日本包装専士会 橋本 香奈 氏 ※Z世代を代表し、東京農工大学「プラごみ減らし隊」より3名の学生も登壇</p>
12:30~13:15	<p>『脱プラスチックから見える教育』</p> <p>東京都多摩市立連光寺小学校 (校長)、全国小中学校環境教育研究会 (副会長)、 東京都小中学校環境教育研究会 (会長) 関口 寿也 氏</p>
13:45~14:30	<p>『対応すべき食品接触材規制とは～EU・北米向け規制内容と留意点～』</p> <p>テュフ ラインランド ジャパン株式会社 製品事業部 ソフトライン&ハードライン部 営業 松本 貴章 氏</p>
15:00~15:45	<p>『深海プラスチック汚染の現状と海にやさしい素材の開発』</p> <p>海洋研究開発機構 磯部 紀之 氏</p>

10月14日(金)

11:00~11:45	<p>『日用品メーカーのプラスチック資源循環への取り組み』</p> <p>ライオン株式会社 サステナビリティ推進部 副主席部員 中川 敦仁 氏</p>
12:15~13:15	<p>『サステナビリティを本業に。アサヒユウアスが共創する新規事業について。』</p> <p>アサヒユウアス株式会社 たのしさユニットリーダー 古原 徹 氏</p>
13:45~14:30	<p>『海洋プラスチックごみ問題に挑む企業アライアンス』</p> <p>クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス CLOMA 事務局・技術統括 柳田 康一 氏</p>
15:00~15:45	<p>『プラスチックリサイクルに必要な環境配慮型設計とは？』</p> <p>エレマ・ジャパン株式会社 取締役 内藤 稔 氏</p>

セミナー

TOKYO PACK Global Seminarセミナー

会場 会議棟606

聴講者総数 146名 (参加無料・事前登録)

テトラパックグループのラース・ホルムキスト氏、Mintel Groupのデヴィッド・ルッテンベルガー氏より、海外における環境、サステナビリティ、リサイクル等の最新動向についてご紹介しました。包装先進企業ならではの豊富な情報に聴講者の関心が寄せられました。



10月13日(木)

10:40~11:40	「持続可能な未来のための食品システムの変革」【録画講演】 テトラパックグループ サステナビリティ&コミュニケーション 担当執行副社長 ラース・ホルムキスト 氏
-------------	---

10月14日(金)

14:30~15:30	「パッケージの新たな挑戦とその未来～ソリューションと環境対応へのチャレンジ～」 Mintel Group Ltd. グローバル・パッケージング・ディレクター デヴィッド・ルッテンベルガー 氏
-------------	---

WPOカンファレンス

会場 会議棟606

聴講者総数 85名 (参加無料・事前登録)

WPOのピエール・ピエナル会長、ネリダ・ケルトン副会長による挨拶、講演、その後アメリカ、ヨーロッパ、東南アジアの包装トレンドについてご紹介しました。パネルディスカッションでは講師と参加者でこれからの包装の課題や未来について討論しました。



10月14日(金)

10:30~13:30	WPO カンファレンス基調講演：世界の包装のトレンドを総括する / WPO会長 ピエール・ピエナル 氏
	サステナブル/サーキュラー・パッケージデザイン：世界の包装産業の今 / ネリダ・ケルトン 氏 (WPO副会長)
	■各地域の包装事情、課題、そして未来とは アメリカ大陸代表/ルシアナ・ベレグリーノ氏 (WPO 上席副会長) ヨーロッパ代表/ヨハネス・バーグメール 氏 (WPO事務局長) 東南アジア代表/パットラ・マネーシン 氏 (アジア包装連盟事務局長) パネル・ディスカッション、Q & A/モデレーター：ソハ・アターラ 氏 (WPO副会長)

スウェーデン包装セミナー

会場 会議棟606

聴講者総数 112名 (参加無料・事前登録)

「スウェーデン包装セミナー ～サーキュラーエコノミー先進国スウェーデンによる将来を見据えた包装」
ヨーロッパにおける包装技術トレンドや新技術への具体的な取り組みを、環境先進国スウェーデンの
複数の包装関連企業・団体よりご紹介しました。



10月13日(木) 13:00~16:30

- ・開会 Business Sweden
- ・ヨーロッパ包装技術のトレンド Invest in Skåne, Olof Tedin
- ・スウェーデンと共に歩む包装の未来 Business Sweden, Michail Pagounis
- ・サステナブル包装材開発～概要 RISEスウェーデン国立研究所, Paul Krochak
- ・3Dファイバーを使用したパッケージング RISEスウェーデン国立研究所, Tomas Anderson
- ・モールドファイバー・ソリューション ロットネロスパッケージング社, Jesper Jansson
- ・Liplid：飲み方の新時代～ドライモールド型コーヒー用リッド リップリッド社, Jesper Berthold
- ・超軽量飲料容器への試み エコリーン株式会社, セールスマネージャー 箕浦智昭 氏
- ・サーキュラーバリア素材～概要 RISEスウェーデン国立研究所, Paul Krochak
- ・サーキュラーバリア RISEスウェーデン国立研究所, Paul Krochak
- ・持続可能なバリアコーティング技術 UMV Coating Systems社, Daniel Ragnarsson

●コーヒーブレイク

【基調講演】環境にやさしい包装材料セルロースナノファイバー

東京大学 大学院農学生命科学研究科
生物材料科学専攻 セルロース化学研究室 教授 磯貝 明 氏

- ・コンバーティング技術開発 RISEスウェーデン国立研究所, Tomas Anderson
- ・パッケージの循環性は森林から イグスンドペーパーボードジャパン, シニアセールスマネージャー 橋本康二 氏
- ・フレキソ印刷最新情報 Brobygrafiskaグラフィック・パッケージングデザインスクール, Tommy Bonte
- ・コンバーティング&デザイン オプティパック社, Ulrik Fauhlér
- ・食品ロスをなくすために：商品安全と新しい保存技術～概要 RISEスウェーデン国立研究所, Paul Krochak
- ・食用パッケージングとその可能性 RISEスウェーデン国立研究所, Tomas Anderso



セミナー

出展社による最新包装技術セミナー

会場 東3・6ホールセミナールーム

発表社 23社

聴講者総数 1,320名 (参加無料・当日受付)



展示ブースだけでは伝えきれない、出展社の新製品・技術・サービス等の詳細について全23セッションのセミナーを開催しました。

開催日：10月12日(水)～14日(金)

10月12日(水) (東6ホールセミナールーム)		10月12日(水) (東3ホールセミナールーム)	
11:00 }	未利用資源を活用したパッケージについて 株式会社 クラウン・パッケージ 社長付 広報室 室長 八木野 徹 氏	10:30 }	サステナビリティパッケージに貢献するソリューションの紹介 DIC株式会社 パッケージ技術本部 パッケージ技術2グループ グループマネージャー 大原 伸一 氏
11:30 }	暮らしを支え、未来をつくる、パッケージング レンゴー株式会社 開発本部 包装技術第一部 東京包装技術第一課 課長 東 則嘉 氏	11:30 }	パッケージのカラーユニバーサルデザインを支援する 東洋インキのUDingシリーズ 東洋インキ株式会社 カスタマーサポート本部 デジタルサポート部 鈴木 聖矢 氏
12:00 }	モノマテリアルバリアパッケージ開発への取組みと 今後の課題～サステナブル社会への実現に向けて 凸版印刷株式会社 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部 開発本部 本部長 小泉 文剛 氏	12:30 }	連続段ボール(らくだん)と最新の自動包装システム紹介 王子コンテナ株式会社 営業本部 本部長付部長 林 裕介 氏
13:00 }	包装材に関する海外法規制の動向 SGSジャパン株式会社 C&P Connectivity RSTS・CS and Adm Manager 松下 栄美子 氏	13:30 }	計量・充填・包装工程の生産性向上に活用される 品質管理・制御システムのご紹介 アンリツ株式会社 開発本部 商品開発部 QUICCA(クイッカ)開発担当 脇 真也 氏
14:00 }	SmartLogoによるパッケージのDX ダンディスマートロゴテクノロジー合同会社 日本支社長 渡辺 政弘 氏	14:30 }	詰め替えパウチにかわる新発想の紙容器[SPOPS] ～新型充填機の開発と今後の市場展開について～ 日本製紙株式会社 紙パック営業本部 紙パック営業統括部 技術調査役 包装専士 野田 貴治 氏
15:00 }	ドラム缶を加工した楽器スチールパンの紹介と演奏 ドラム缶工業会 スチールパン・オーケストラ PAN NOTE MAGICの皆様	15:30 }	アルケマのサステナブル樹脂 ～[植物由来]から [持続可能なスペシャリティ材料]へ～ アルケマ株式会社 グループマネージャー 西下 祥幸 氏

10月13日(木) (東3ホールセミナールーム)		10月14日(金) (東3ホールセミナールーム)	
10:30 }	SML6を用いた溶出量シミュレーションの活用について 一般財団法人 化学研究評価機構 衛生・化学物質安全試験担当課長 渡辺 一成 氏	10:30 }	表面処理(JCコート)で実現するストレスフリーな工程 太陽誘電ケミカルテクノロジー株式会社 営業部 外販営業課 課長 清水 健 氏
11:00 }	エタノール蒸散型品質保持剤の賞味延長効果の適用例と 環境負荷軽減の可能性 フロイント産業株式会社 品質保持剤事業本部 製品開発室 深澤 斗希也 氏	11:30 }	改正食品衛生法 ポジティブリスト制度と 食品接触材料安全センターの役割 一般財団法人 化学研究評価機構 食品接触材料安全センター 企画調整室長 梶原 健世 氏
12:00 }	『Shimanto Project』：軟包装フレキソ印刷の標準化に 向けた取り組み(東洋インキ株式会社) デュボン・スペシャルティ・プロダクツ株式会社 エレクトロニクス&インダストリアル事業本部 インダストリアルソリューションズ事業部 部長 大木 俊博 氏	12:30 }	旭化成のフレキソ印刷における最新技術のご紹介 旭化成株式会社 感光材営業部 部長 齋藤 匠 氏
13:00 }	次世代のカラーマネジメント -「分光濃度・測色計 eXact2」のご紹介- ビデオジェット・エクスライト株式会社(エクスライト社) アプリケーションスペシャリスト 岡松 英二 氏	13:30 }	コンテナは購入よりレンタルがお得? SDGs時代に 最適なコンテナの選び方 住商グローバル・ロジスティクス株式会社 マキシコン事業部 飯田 裕生 氏
14:00 }	環境配慮設計とGREEN PACKAGING 大日本印刷株式会社 Lifeデザイン事業部 IPCビジネスデザイン本部環境ビジネス推進部・リーダー 佃 えり子 氏	14:30 }	軟包装材料のトレンド 食の安心・安全と 改正食品衛生法、そして環境負荷低減 軟包装衛生協議会 常務理事 坂田 亮 氏
15:00 }	『グランカラー』と『Vカラー』がパッケージ印刷を変える 株式会社 プロスパーククリエイティブ 代表取締役/技術アドバイザー 川端 秀樹 氏/木島 明良 氏	15:30 }	
16:00 }		16:00 }	

セミナー

パッケージデザインセミナー

会場 東6ホールセミナールーム

発表社 10社

総参加者数 546名 (参加無料・当日受付)



パッケージデザインパビリオン出展者より、パッケージにおけるデザインの重要性を解説するセミナーを全10セッション開催しました。

開催日：10月13日(木)～14日(金)

10月13日(木)		10月14日(金)	
11:00 }	"記憶になるブランド"をつくるコツ レガン株式会社 代表取締役 森 孝幹 氏	11:00 }	SDGs対策! パルプモールドパッケージデザインと試作&ODM アルテサーノ・デザイン合同会社 代表 吉田 晃永 氏
12:00 }	新規事業/異分野事業/新規チャネル開発とデザイン オフィス シーダブリュエス有限会社 代表取締役 堀越 敏晴 氏	12:00 }	機械学習と最適化アルゴリズムを用いたパッケージ開発 アルデアエンジニアリング株式会社 HyperWorks Support、アプリケーションエンジニア ピエトロ・ベッロージ 氏
13:00 }	P.K.G.Tokyoの「パッケージから始めるブランディング」 P.K.G.Tokyo 合同会社 代表社員 天野 和俊 氏	13:00 }	デザインで解決!エコ・SDGsを配慮したモノづくり 佐野デザイン事務所/sanodesign 代表 佐野 正 氏
14:00 }	超かんたん!30秒でパッケージの商品画像を自動作成 [Auto3D] 株式会社 MDDクリエイティブ かんたん3D事業部長 原 智彦 氏	14:00 }	デザインでサポートするエコレザーの取組 有限会社 ケルビム 代表取締役 堀内 智樹 氏
15:00 }	AIとデザイン思考が変えるパッケージデザインの未来 株式会社 プラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏	15:00 }	初めて開発する自社商品のための「パッケージデザイン」 株式会社 カブ・デザイン 代表取締役 齋藤 善子 氏

集中展示企画セミナー

会場 会議棟610

聴講者総数 234名 (参加無料・事前登録)



東6ホールで開催した集中展示企画の内容をセミナー形式で分かりやすく発信しました。

10月13日(木)

10:30~11:15	「注目される循環型ポリマーの現状と今後」 住本技術士事務所 日本包装コンサルタント協会 住本 充弘 氏
11:45~12:30	「食品ロス削減の取組みと容器包装」 農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室長 森 幸子 氏
13:00~13:45	「人に優しい改革～ロボットと実現する重労働からのジョブチェンジ～」 オークラサービス株式会社 オークラロボットサプライカンパニー 管理企画グループ・グループ長 関根 小百合 氏
14:15~15:00	「コロナと共存するパッケージ」 株式会社 インターナショナル三興 営業部(日本包装管理士会 本部理事) 須藤 貴行 氏

セミナー

2022パッケージングフォーラム

会場 会議棟610

聴講者総数 74名 (参加無料・事前登録)

2022日本パッケージングコンテストのジャパンスター賞に入選された作品の中から開発経緯や製品特性等の研究成果をご紹介します。



10月14日(金)

10:30~10:55	「海外向けシート輸送固定材のオール段ボール化改善」 スズキ株式会社 生産本部 生産計画部 物流グループ 係長 石川 昌平 氏
11:00~11:25	「PE 単一素材詰め替えパウチ『新バンテンエフォートレスシリーズ』」 藤森工業株式会社 研究所 ライフサイエンス開発部 機能性容器開発グループ グループリーダー 池田 広隆 氏
11:30~11:55	「伝票封かん 簡単フクロック」 レンゴー株式会社 パッケージング部門 開発本部 包装技術第二部 関東包装技術課 主任 長原 耕太郎 氏

2022木下賞受賞フォーラム

会場 会議棟610

聴講者総数 132名 (参加無料・事前登録)

2022(第44回)木下賞に入選された製品の開発経緯や概要、効果などについてご紹介しました。



10月14日(金)

12:30 }	「『チューブなパウチ®』の開発」 凸版印刷株式会社 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部 開発本部 関西開発部 技術開発T・課長 岩田 賢 氏	14:35 }	「バイオマス原料を用いたPTPシートの実用化」 アステラス製薬株式会社 製剤研究所 包装・デバイス研究室・研究員 西田 航大 氏
12:50 }	「電子レンジ対応紙カップの開発」 大日本印刷株式会社 Lifeデザイン事業部イノベティブ・パッケージングセンター 製品・システム開発本部製品開発部第1課 武本 一平 氏	15:00 }	「分別塗工方式による新規無溶剤型接着剤(DUALAM)」 DIC株式会社 パッケージ技術1G マネージャー 新居 正光 氏
13:15 }	「国産開発!三辺可変自動包装システム『パルミラ』による ビックカメラ様での物流現場改善・合理化」 レンゴー株式会社 包装システム推進本部 副本部長 吉田 正徳 氏	15:20 }	「次世代サステナブル6缶パック『エコパック』の開発」 アサヒビール株式会社 パッケージング技術研究所・副課長 中島 宏章 氏
13:20 }	「折るだけでロック!『シマオカロック』」 ダイナパック株式会社 みよし事業所 営業部 設計グループ 嶋岡 颯人 氏	15:25 }	「メルシャン『おいしい酸化防止剤無添加ワイン』 用軽量ペットボトルの開発」 キリンホールディングス株式会社 R&D本部 パッケージイノベーション研究所 新井 裕貴 氏
13:40 }	「オリジナルブレンドマテリアルの開発と WF-1000XM4パッケージへの導入」 ソニーグループ株式会社 クリエイティブセンター デザイナー 廣瀬 賢一 氏	15:50 }	
13:45 }		16:10	
14:05			
14:10 }			
14:30			

サービス活動・プロモーション活動

サービス活動

包装相談所(Q&Aコーナー)【東6ホール会場内】

包装に関する課題やより詳細な製品情報などについて、包装のスペシャリストと無料で相談できるQ&Aコーナーを用意しました。

WEB相談メール

本展Webサイトを通じて、来場者が出展社に対しサンプル・資料請求やアポ取り、技術的な相談などができる「WEB相談メール」を用意しました。

パッケージソリューションシート(PSシート)

出展社との相談を効率的に行うため、来場者の企業概要や包装に対する課題・要望などについて記入いただく共通シート「パッケージソリューション(PS)シート」を用意しました。

パッケージデザイン問診票

デザイナーとの相談をスムーズに行っていただくための共通シート「パッケージデザイン問診票」をパッケージデザインパビリオンにて用意しました。

会場マップの配布

各ホール出入口付近にワゴンを設置し、会場マップを配布しました。

プレスルーム【東1ホール】

本展のニュースリリースや会期中毎日更新する公式フォトをダウンロードできるプレスルームを国内報道関係者向けに用意しました。

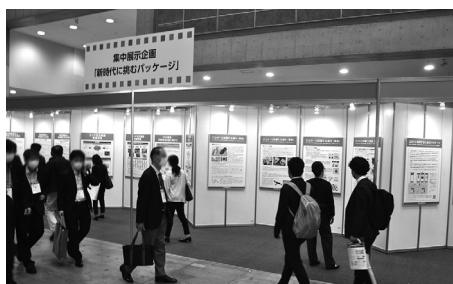
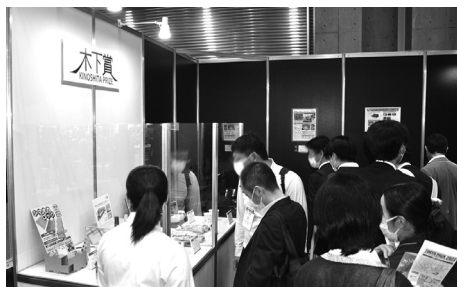
インターナショナルラウンジ【東1ホール】

海外出展社・来場者・プレスの方々を対象に通訳やWi-Fi等のサービスが利用できるインターナショナルラウンジを用意しました。

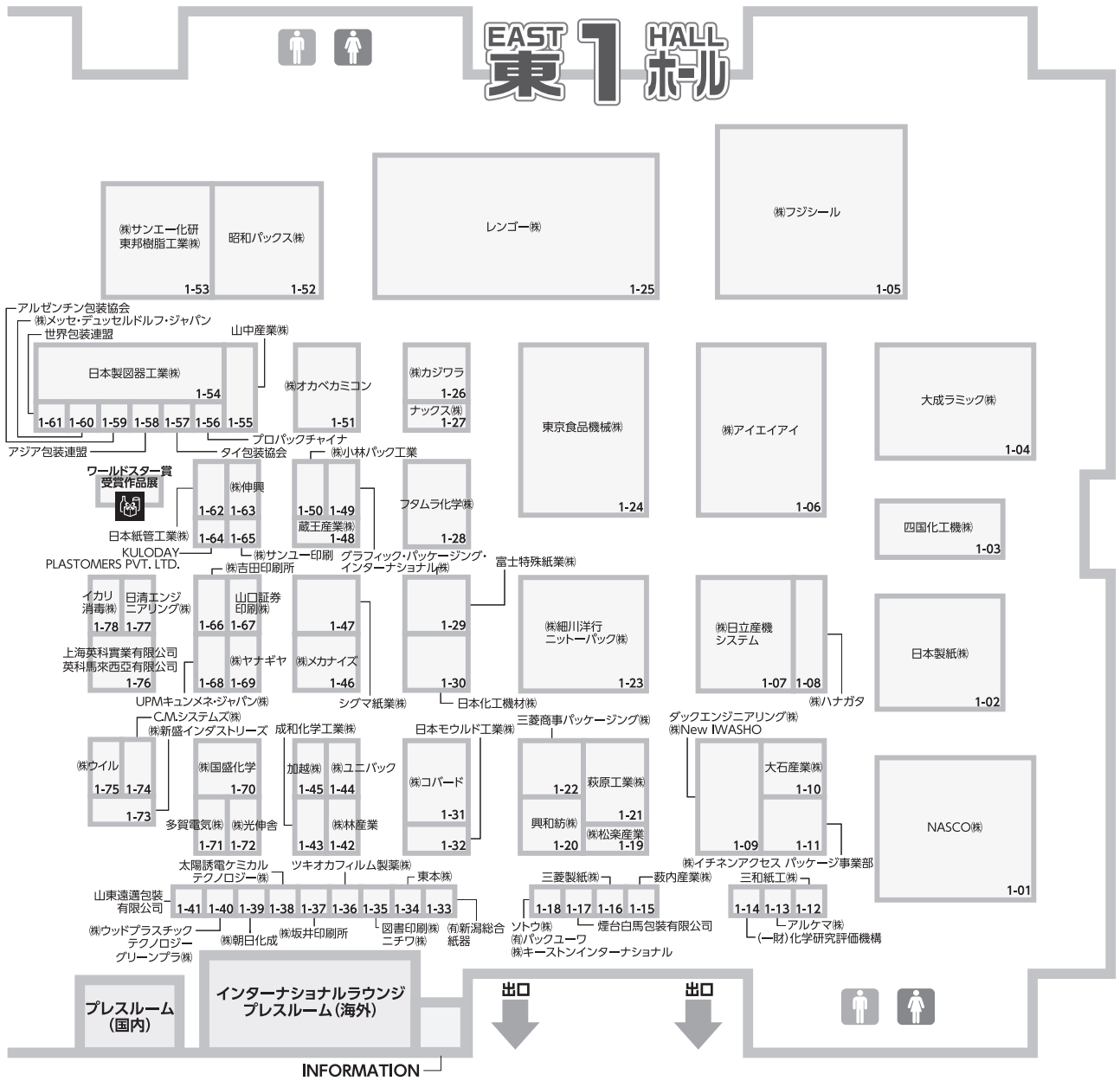


プロモーション活動

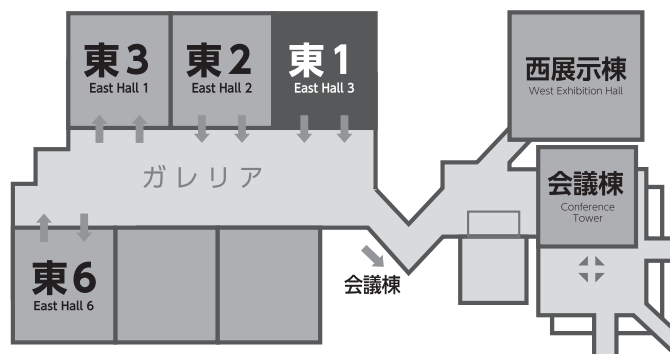
公式Webサイト	出展社情報の検索、来場事前登録の受付、セミナー事前登録の受付、来場事前登録者数に基づく会場内の混雑予想など、様々なコンテンツを用意しました。
オンライン配信セミナー	会期中開催した一部のセミナーをオンライン配信セミナーとして期間限定で公開しました。
メールマガジン	前回・前々回来場者(約8万名)に対し、複数回にわたり、メールマガジンを発行し、来場促進活動を実施しました。
来場登録券	出展社、関連団体、主催者配布分として、約100万枚の来場登録券(招待券)を作成、配布、DM発送を行い、来場促進活動を実施しました。
記者発表会	2022年7月に記者発表会を実施し、関連業界約100紙誌以上への記事掲載、会場取材の誘致を広く依頼しました。
専門紙誌・雑誌・テレビ局などへのPR活動	国内外の関連業界専門紙誌、雑誌への広告掲載をはじめ、テレビ局などにも来場誘致に向けた積極的なPR活動を実施しました。
Facebookページ	本展公式Facebookページにて、開催概要の告知や出展社の紹介を行いました。

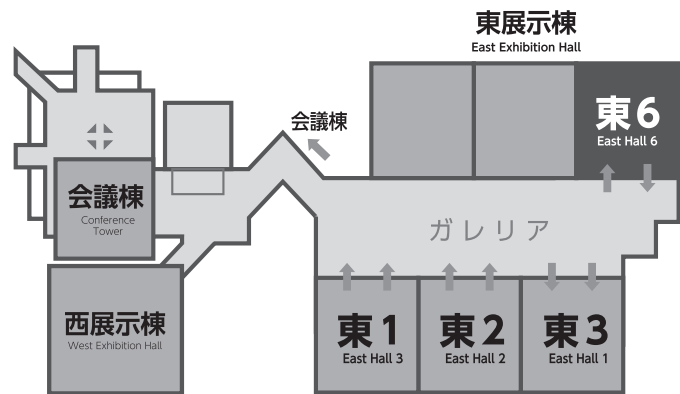
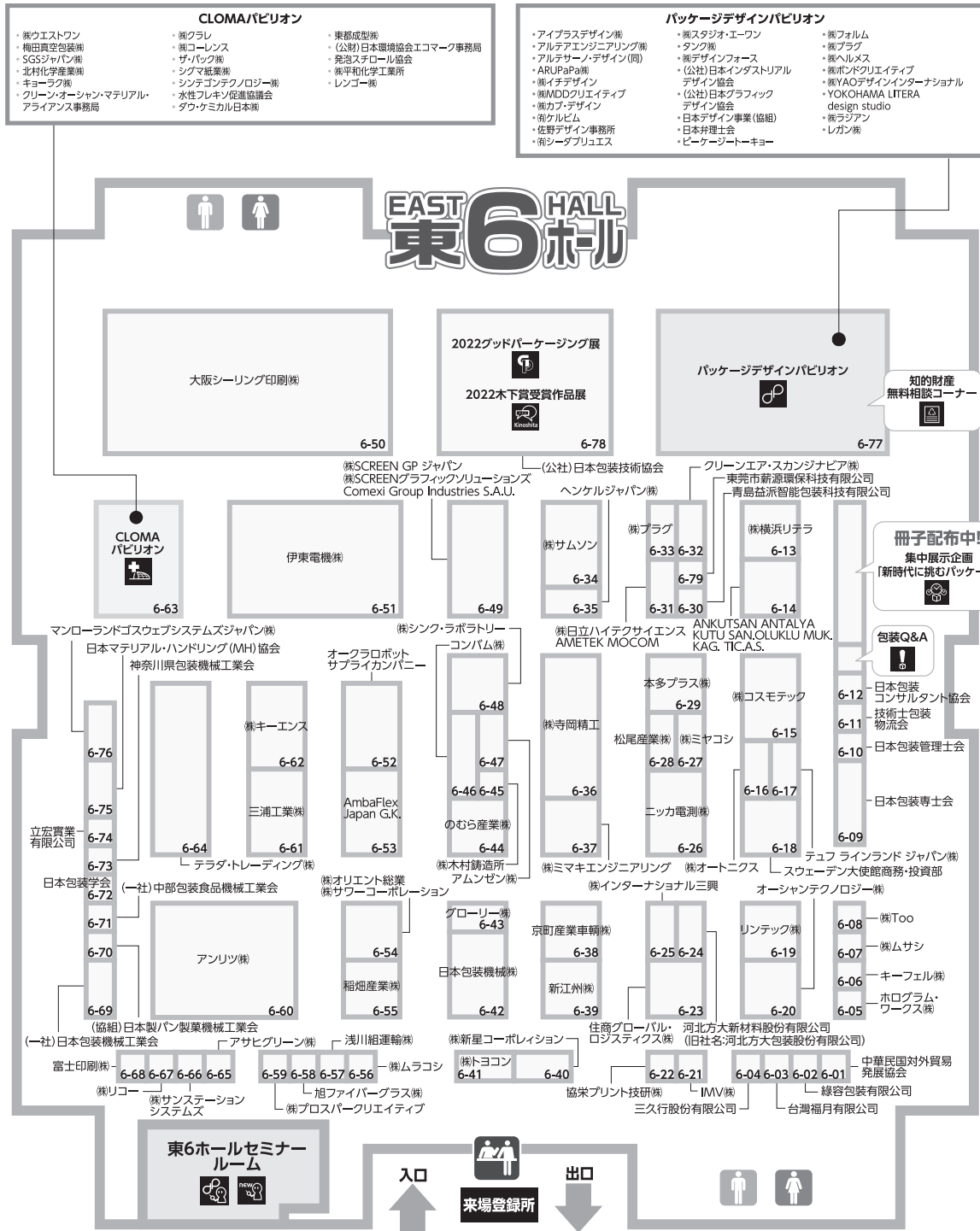


会場マップ



東展示棟 East Exhibition Hall





出展社一覧

出展社名	小間番号
あ	
㈱アイエイアイ	1-06
IMV(株)	6-21
アイ-コンボロジー(株)	3-04
愛星パック(株)	2-37
アイリス・ファインプロダクツ(株)	2-69
浅川組運輸(株)	6-57
旭化成(株)	2-34
㈱朝日化成	1-39
アサヒグリーン(株)	6-65
旭ファイバーグラス(株)	6-58
アジア包装連盟	1-58
アスカカンパニー(株)	2-40
㈱アパックス	3-06
Aptar	3-07
アムンゼン(株)	6-47
AMETEK MOCON	6-31
アルケマ(株)	1-13
アルゼンチン包装協会	1-59
アルマーク(株)	2-48
ANKUTSAN ANTALYA KUTU SAN. OLUKLU MUK. KAG. TIC.AS.	6-14
AmbaFlex Japan G.K.	6-53
アンリツ(株)	6-60
イーデーエム(株)	2-14
イカリ消毒(株)	1-78
㈱イチネンアクセス パッケージ事業部	1-11
出光ユニテック(株)	3-35
伊藤景パック産業(株)	2-80
伊東電機(株)	6-51
稲畑産業(株)	6-55
㈱イリス	3-09
㈱インターナショナル三興	6-25
㈱ウイール	1-75
㈱ウッドプラスチックテクノロジー	1-40
梅田真空包装(株)	3-30
ACS(株)	2-57
エクサーチ(株)	2-19
㈱エクシール	2-82
㈱エクト	3-03
㈱エコボード	2-36
エスコグラフィックス(株)	2-34
SGSジャパン(株)	2-64
FBR-ELPO	2-08
EBERLE	3-40
㈱エムエスティ	3-29
王子ホールディングス(株)	3-14
大石産業(株)	1-10
オーエスマシナリー(株)	3-10
オークラロボットサプライカンパニー	6-52
大阪シーリング印刷(株)	6-50
オーシャンテクノロジー(株)	6-20
㈱オートニクス	6-16
㈱オカベカミコン	1-51
OMIPA	2-08
㈱オリエント総業	6-54
㈱オリオン商事	2-58
か	
柏原加工紙(株)	2-71
加越(株)	1-45
(一財)化学研究評価機構	1-14
㈱カジワラ	1-26
神奈川県包装機械工業会	6-73
GAMMA MECCANICA	2-08
㈱キーエンス	6-62
㈱キーストーンインターナショナル	1-18
キーフェル(株)	6-06
紀州技研工業(株)	2-27
技術士包装物協会	6-11
㈱北原産業	3-24
キムラシール(株)	2-70

出展社名	小間番号
㈱木村鋳造所	6-45
協栄プリント技研(株)	6-22
共同印刷(株)	3-36
京町産業車輛(株)	6-38
㈱共立物流システム	2-55
㈱国盛化学	1-70
㈱クラウン・パッケージ	2-15
グラフィック・パッケージング・インターナショナル(株)	1-49
グリーンエア・スカンジナビア(株)	6-32
グリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス事務局	6-63
グリーンプラ(株)	1-40
㈱グリーンプラス	3-38
グローリー(株)	6-43
KULODAY PLASTOMERS PVT. LTD.	1-64
㈱光伸舎	1-72
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター	3-41
興和紡(株)	1-20
㈱コーレンス	2-83
㈱コスモテック	6-15
㈱コバード	1-31
㈱小林	3-21
㈱小林パック工業	1-50
㈱コマック	2-21
COMI	2-08
コムネット(株)	2-74
Comexi Group Industries S.A.U.	6-49
こるどん(株)	2-41
コンゴートテクノロジー(株)	2-29
コンバム(株)	6-46
さ	
サイデック(株)	3-15
蔵王産業(株)	1-48
㈱坂井印刷所	1-37
サカタインクス(株)	3-26
ザ・パック(株)	3-12
㈱サムソン	6-34
㈱サワーコーポレーション	6-54
㈱サンエー化研	1-53
㈱サン・エン지니어リング	3-08
㈱サンステーションシステムズ	6-66
三宝化成工業(株)	3-32
㈱サンユー印刷	1-65
山陽パッケージシステム(株)	3-25
㈱サンライズ	2-45
三和紙工(株)	1-12
㈱GSIクレオス	2-78
C.M.システムズ(株)	1-74
シール栄登(株)	2-38
シール工業(株)	2-46
㈱ジェビーインク	2-68
シグマ紙業(株)	1-47
四国化工機(株)	1-03
㈱システムスクエア	2-16
㈱SINACO	2-57
珠海丹徳画像技術有限公司	3-22
㈱松楽産業	1-19
㈱ショウワ	2-32
昭和電工パッケージング(株)	2-24
昭和電工マテリアルズ(株)	2-24
昭和ボックス(株)	1-52
進栄化成(株)	2-13
シンエイグループ ㈱FLEX	3-47
㈱シンク・ラボラトリー	6-48
㈱伸興	1-63
新江州(株)	6-39
㈱新盛インダストリーズ	1-73
㈱新星コーポレーション	6-40
㈱シノワ機械	3-44
スウェーデン大使館商務・投資部	6-18
㈱SCREENグラフィックソリューションズ	6-49

出展社名	小間番号
㈱SCREENクリエイティブコミュニケーションズ	2-66
㈱SCREEN GP ジャパン	6-49
ストラパック(株)	3-33
㈱スマイル	2-50
住商グローバル・ロジスティクス(株)	6-23
住友重機械モダン(株)	2-51
成和化学工業(株)	1-43
世界包装機構	1-61
ゼネラル(株)	3-20
双日ブラネット(株)	3-17
ソトウ(株)	1-18
た	
㈱ダイケン	2-28
大成ラミック(株)	1-04
大同至高(株)	2-42
大日精化工業(株)	3-31
大日本印刷(株)	3-49
タイ包装協会	1-57
太陽誘電ケミカルテクノロジー(株)	1-38
高千穂精機(株)	3-11
多賀電気(株)	1-71
㈱タカラ	3-46
ダックエンジニアリング(株)	1-09
タマポリ(株)	2-53
ダンディ スマートロゴテクノロジー(同)	3-22
(一社)中部包装食品機械工業会	6-71
㈱彫刻プラスト	2-33
㈱千代田グラビヤ	3-27
司化成工業(株)	3-18
ツキオカフィルム製薬(株)	1-36
㈱包む	2-15
DIC(株)	3-48
DICグラフィックス(株)	3-48
㈱TTトレーディング	2-76
テクノツールズ(株)	2-35
テュフ ラインランド ジャパン(株)	6-17
㈱寺岡精工	6-36
テラダ・トレーディング(株)	6-64
㈱Too	6-08
東京計器(株)	2-09
東京食品機械(株)	1-24
東京都中小企業振興公社(東京ビジネスフロンティア)	3-50
㈱東伸	3-19
東邦樹脂工業(株)	1-53
東本(株)	1-34
東洋インキ(株)	2-31
東洋FPP(株)	2-31
東洋製罐グループホールディングス(株)	3-45
東洋モートン(株)	2-31
トーヨーカラー(株)	2-31
トーヨーケム(株)	2-31
トキワ印刷(株)	2-60
特種東海製紙(株)	2-76
図書印刷(株)	1-35
トタニ技研工業(株)	2-75
凸版印刷(株)	2-52
㈱トヨコン	6-41
㈱トヨテック	2-11
㈱トライフ	2-76
ドラム缶工業会	2-72
TRIPLE Co., Ltd	2-02
な	
㈱ナカキン	2-49
㈱中條製缶	2-44
㈱名古屋モールド	2-56
NASCO(株)	1-01
ナックス(株)	1-27
軟包装衛生協議会	3-23
㈱新潟総合紙器	1-33

出展社名	小間番号
ニチワ(株)	1-35
ニッカ電測(株)	6-26
日清エンジニアリング(株)	1-77
ニットーパック(株)	1-23
日本製紙(株)	1-02
日本テクノロジソリューション(株)	2-61
日本包装機械(株)	6-42
(株)日本HP	3-37
日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会	6-75
(株)日本エンジニアリングサービス	2-84
日本化工機材(株)	1-30
日本工業刃物(株)	3-39
日本紙管工業(株)	1-62
日本真空包装機械(株)	2-68
日本製図器工業(株)	1-54
協同組合日本製パン製菓機械工業会	6-70
日本セキソー(株)	3-16
日本包装学会	6-72
日本包装管理士会	6-10
(一社)日本包装機械工業会	6-69
(公社)日本包装技術協会	6-78
日本包装コンサルタント協会	6-12
日本包装専士会	6-09
(株)日本包装リース	2-73
日本モールド工業(株)	1-32
(株)New IWASHO	1-09
(株)ネクサスエアー	2-85
のむら産業(株)	6-44

は	小間番号
ハーマン・ウルトラソニック・ジャパン(株)	2-26
(株)パイオニア風力機	3-08
(株)ハイパック	3-44
萩原工業(株)	1-21
(有)パックユーワ	1-18
PACRAFT(株)	3-13
(株)ハナガタ	1-08
(株)花塚製作所	2-59
(株)林産業	1-42
VALMATIC	2-08
BEARDOW ADAMS	2-08
(株)日立産機システム	1-07
(株)日立ハイテクサイエンス	6-31
ビデオジレット・エックスライト(株)(エックスライト社)	2-34
富士印刷(株)	6-68
富士インパルス(株)	2-22
(株)フジシール	1-05
富士特殊紙業(株)	1-29
不双産業(株)	3-34
フタムラ化学(株)	1-28
(株)ブラグ	6-33
(株)古川製作所	3-44
フロイント産業(株)	2-06
Floeter Verpackungs-Service GmbH	2-87
(株)プロスパークリエイティブ	6-59
プロパックチャイナ	1-56
ペーパーウェア(株)	3-28
ヘンケルジャパン(株)	6-35
ホーレン・ジャパン(株)	2-86
(株)細川洋行	1-23
ホログラム・ワークス(株)	6-05
本多プラス(株)	6-29

ま	小間番号
マーケム・イマージュ(株)	2-88
マツイカガク(株)	2-31
松尾産業(株)	6-28
MARTINI TECH(株)	2-08
丸東産業(株)	2-39
マンローランドゴスウェブシステムズジャパン(株)	6-76
三浦工業(株)	6-61
三井化学(株)	2-89
三井ダウ・ポリケミカル(株)	2-89
三井化学東セロ(株)	2-89
三菱ケミカル(株)	3-43

出展社名	小間番号
三菱商事パッケージング(株)	1-22
三菱製紙(株)	1-16
(株)ミマキエンジニアリング	6-37
(株)ミヤコシ	6-27
ミリケン・ジャパン/Milliken Chemical	2-10
(株)ムサシ	6-07
(株)ムラコシ	6-56
(株)メカナイズ	1-46
(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン	1-60
メルクパフォーマンスマテリアルズ(同)	3-05

や	小間番号
(株)ヤナギヤ	1-69
数内産業(株)	1-15
(株)ヤマガタグラフィヤ	2-25
山口証券印刷(株)	1-67
山崎産業(株)	2-54
山中産業(株)	1-55
(株)ヤマニパッケージ	2-77
(株)ユーキ	2-62
ユーザックシステム(株)	2-23
UPMキュムメネ・ジャパン(株)	1-68
友和産業(株)	3-34
ユニオンケミカル(株)	2-65
ユニック産業(株)	2-03
(株)ユニバック	1-44
(株)横浜自働機	2-63
(株)横浜リテラ	6-13
(株)吉田印刷所	1-66

ら	小間番号
(株)ラヤマパック	2-47
(株)リコー	6-67
リンテック(株)	6-19
(株)レザック	2-30
レンゴー(株)	1-25

わ	小間番号
ワイエイシイマシナリー(株)	3-12
(株)渡辺護三堂	2-07

[CLOMAパビリオン]	小間番号
(株)ウエストワン	6-63
梅田真空包装(株)	6-63
SGSジャパン(株)	6-63
北村化学産業(株)	6-63
キョーラク(株)	6-63
(株)クラレ	6-63
グリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス事務局	6-63
(株)コーレンス	6-63
ザ・パック(株)	6-63
シグマ紙業(株)	6-63
シントゴントテクノロジ(株)	6-63
水性フレキシコ促進協議会	6-63
ダウ・ケミカル日本(株)	6-63
東都成型(株)	6-63
(公財)日本環境協会 エコマーク事務局	6-63
発泡スチロール協会	6-63
(株)平和化学工業所	6-63
レンゴー(株)	6-63

[パッケージデザインパビリオン]	小間番号
アイプラスデザイン(株)	6-77
アルテアエンジニアリング(株)	6-77
アルテサーノ・デザイン(同)	6-77
ARUPaPa(株)	6-77
(株)イチデザイン	6-77
(株)MD Dクリエイティブ	6-77
(株)カブ・デザイン	6-77
ケルビム	6-77
佐野デザイン事務所	6-77
(有)シーダブリュエス	6-77
(株)スタジオ・エーワン	6-77
タンク(株)	6-77
(株)デザインフォース	6-77

出展社名	小間番号
(公社)日本インダストリアルデザイン協会	6-77
(公社)日本グラフィックデザイン協会	6-77
日本デザイン事業協同組合	6-77
日本弁理士会	6-77
ピーケージートーキョー	6-77
(株)フォルム	6-77
(株)ブラグ	6-77
(株)ヘルメス	6-77
(株)ポンドクリエイティブ	6-77
(株)YAOデザインインターナショナル	6-77
YOKOHAMA LITERA design studio	6-77
(株)ラジアン	6-77
レガン(株)	6-77

[東京都中小企業振興公社パビリオン] (東京ビジネスフロンティア)	小間番号
エクスポート・ジャパン(株)	3-50
カネパッケージ(株)	3-50
(株)クレア	3-50
(株)コスモテック	3-50
(株)サイブラ	3-50
(有)正晃社工業所	3-50
(株)Zen-Sai	3-50
(株)ソニア	3-50
(株)泰清紙器製作所	3-50
(有)タケトモ電機	3-50
東京都中小企業振興公社(東京ビジネスフロンティア)	3-50
東京未来素材・燃やせるプラスチック(有)三幸電機製作所	3-50
東京吉岡(株)	3-50
(株)B-STORM	3-50
(株)東日本技術研究所	3-50
(株)PIJIN	3-50
(株)フォーワテック・ジャパン	3-50
ホーショー(株)	3-50
(株)松浦紙器製作所	3-50
ヤマコー(株)	3-50
(株)吉村	3-50
案プリ(株)	3-50

[中華圏出展社]	小間番号
東莞市盈彩包装有限公司	2-01
武漢市美奇斯機械設備有限公司	2-81
佛山市海瑞進出口有限公司	2-43
佛山市程睿進出口有限公司	2-43
河北北方新材料股份有限公司	6-24
(旧社名：河北北方大包装股份有限公司)	
浙江納鑫膠帶制品有限公司	3-42
上海英科實業有限公司	1-76
英科馬來西亞有限公司	1-76
煙台白馬包装有限公司	1-17
山東遠通包装有限公司	1-41
青島益派智能包裝科技有限公司	6-30
深圳市澳威包裝製品有限公司	2-20
三夏精機股份有限公司	2-79
総武機械株式會社	2-79
華納企業有限公司	3-01
景太國際企業有限公司	3-02
廣州曼盛包装有限公司	2-18
曼盛包装(上海)有限公司	2-18
科佩(蘇州)特種材料有限公司	2-05
Klöckner Pentaplast	2-05
銀騰包裝科技(上海)有限公司	2-67
(株)ZAP	2-12
臨沂國森塑業有限公司	2-04
三久行股份有限公司	6-04
台灣福月有限公司	6-03
東莞市新源環保科技有限公司	6-79
中華民國對外貿易發展協會	6-01
立宏實業有限公司	6-74
綠容包裝有限公司	6-02
台灣包裝協會	

TOKYO PACK 2022 報告書 / REPORT

発行日 2022年12月

発行 2022 東京国際包装展事務局
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階
公益社団法人日本包装技術協会
TEL. 03-3543-1189 FAX. 03-3543-8970

発行人 公益社団法人日本包装技術協会
専務理事 園山 洋一
